

南木曾町の蘇南高校三年生が四月二十日、校内の前庭にピンク色のミツバツツジ五十本を植えた。これからも生徒が植栽を続け、町を代表する群生地になりたいという。

同校では昨夏、マツ枯れ対策などのため、前庭にあったアカマツなど三十本を伐採。すると木に隠れていたミツバツツジ数十本が姿を現し、「さらに植えればツツジの名所になるのでは」と思い立った。

三年生六十七人を前に、生徒

ミツバツツジの群生地に

蘇南高生ら校内に苗木50本



前庭にミツバツツジを植える生徒たち―南木曾町の蘇南高校で

会長の上野香奈莉さん(セガ「蘇南高生が代々受け継いで良い景色になるよう丁寧に植えましょう」とあいさつ。学校関係者が前日に掘ったくぼみに、町と二〇二一年度の卒業生から寄付された高さ五十センチほどの苗木を植えた。

高台にある同校からは中央アルプスの雄大な山々が見渡せ、小川幸司校長はいずれ咲くツツジとの共演を期待。「地域の人々が気軽に散策できる場になれば」と願った。(戸田稔理)